

令和8年度 糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報 No. 5

令和8年7月7日
糸魚川農業普及指導センター

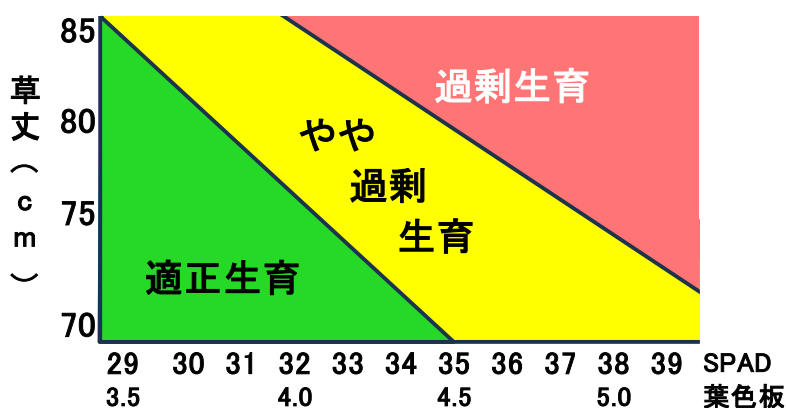
1 7月7日現在のコシヒカリの生育状況（指標値との比較）

田植日・調査ほ場	草丈	茎数	葉数	葉色
田植日 5月2～27日 東海、西川原、東中、榎	やや短～並	並～やや多	やや早	やや淡～淡

- 生育には場間差がありますが、**葉色が淡いほ場が見受けられます。**
- コシヒカリは幼穂形成期を迎えています。
- 現時点では、平坦地の5月10日頃の田植えのコシヒカリの出穂期は7月30日頃と予想されます。

2 今後の管理について

- 1回目の穂肥時期は幼穂の長さにより判断し、**遅れずに施用**しましょう。
- 越後の輝き有機50穂肥の場合、1回目穂肥時期のめやすは出穂20日前（幼穂長0.4cm）ですが、**SPAD値で30程度のほ場では出穂22～23日前頃に早めましょう。**



< 1回目の穂肥のめやす >

生育区分	施用時期	10a 当たり窒素量
適正生育	出穂 20 日前	1～1.5kg
やや過剰生育	出穂 17 日前	
過剰生育	1回目施用しない	

(施用時に SPAD 値で 30 程度の場合は 1.5kg/10a)

図 幼穂形成期頃の生育状況判断のめやす

- 元肥一発肥料でも、既に葉色がかなり低下している場合は追肥を検討しましょう。
- 施用後は飽水管理を継続し、葉色の低下を防ぎましょう。

3 7月7日のコシヒカリ生育調査結果

調査項目		ほ場場所 (田植日)	指標値 ※	東海 (5月6日)	西川原 (5月2日)	東中 (5月27日)	榎 (5月17日)
草丈	本年値 (cm)		69	68	66	50	60
	平年比 (%)			99	101	80	94
	指標比 (%)			99	95	72	87
茎数	茎数 (本/m ²) (一株当たり(本))		460	475 (25.8)	540 (30.7)	552 (29.2)	376 (21.0)
	平年比 (%)			99	124	109	82
	指標比 (%)			103	117	120	82
葉数	本年値 (葉)		11.0	11.6	12.9	9.6	11.2
	平年差 (葉)			+0.1	+1.5	-1.1	+0.3
	指標差 (葉)			+0.6	+1.9	-1.4	+0.2
葉色	本年値 (SPAD 値)		35.5	29.9	33.6	39.3	35.5
	平年差 (SPAD 値)			-2.8	-1.0	+1.6	-0.4
	指標差 (SPAD 値)			-5.6	-1.9	+3.8	±0

※平年比・差とは、各調査ほごとの過去10年平均の生育値に対する現在の生育値の割合・差
 ※指標比・差とは、目標とする理想的な生育値（指標値）に対する現在の生育値の割合・差
 次回の情報提供は7月21日頃の予定です。